

観光統計データ等の活用支援業務

業 務 仕 様 書

(一社) 東北観光推進機構

仕 様 書

1 事業名

観光統計データ等の活用支援業務

2 事業目的

一般社団法人 東北観光推進機構（以下「東観推」という。）は、観光庁及び JNTO が公表する公的統計データの収集・整形・可視化・共有に係る一連の業務を、継続的かつ効率的に運営できる体制を構築するため、本仕様書に基づき、受託事業者を公募するものである。

本業務は、公的統計データを中心に「取り込み・整形・可視化・共有」までの一連のプロセスを効率的に運営できる体制を構築することで、東観推における『データを活用する工数』と『データを共有する工数』を段階的に低減し、データの可視化等、マーケティング力を強化することを目的とする。

また、将来的に都道府県 DMO や地域 DMO との情報共有や DMO 登録更新時の情報支援並びに東観推全会員に対する情報提供を視野に本業務に取り組むものである。

3 委託金額

金 5, 3 0 0, 0 0 0 円（うち消費税及び地方消費税を含む）

4 事業実施期間

契約日から 2027 年 3 月 31 日（水）まで（9 ヶ月を想定）

5 業務内容

（1）データの取り込み

① 取り込み対象データ

- ・以下のデータソースを定期的に取り込み、格納すること。
- ・データの格納先について、提案内容に含めること。
- ・データの取り込みおよび格納にあたり、講じるセキュリティ対策について提案内容に含めること。

(取り込み対象及び目標反映タイミング)

データ	公表元	公表タイミング	目標反映タイミング
宿泊旅行統計調査 (日本人延べ宿泊数)	観光庁	毎月月末	公表後 2 営業日以内
宿泊旅行統計調査 (外国人延べ宿泊数)	観光庁	毎月月末	公表後 2 営業日以内
訪日外客統計	JNTO	毎月 20 日	月末までに反映
インバウンド消費動向調査	観光庁	2026 年 4-6 月分 9 月 30 日反映 2026 年 7-9 月分 12 月 24 日反映 2026 年 10-12 月分 3 月 31 日反映 (2026 年暦年) 1 月 20 日 反映	公表後 2 営業日以内

② テスト期間

- ・2026 年 7 月から 9 月の 3 ヶ月間をテスト期間と位置づけ、東観推の担当者が管理する既存 Excel データとの数値突合を実施し、データ取り込みの安定化を図ること。
- ・テスト期間中は月 1 回程度のテスト取り込みを実施し、都度、東観推の確認を得ること。

③ データ取り込み管理

- ・観光庁公表の宿泊旅行統計調査（外国人延べ宿泊数・国内延べ宿泊者数・施設タイプ別宿泊数・全都道府県データ）とインバウンド消費動向調査より上記反映タイミングの期日を基に一括取り込みを実施すること。併せて、JNTO 訪日外客統計についても毎月 20 日の公表後、月末までに反映することを基本運用とすること。

(2) データ整形・設定

- ・取り込みデータの正規化・整形を行うこと。
- ・東北 6 県合計・7 県合計（新潟を含む）・各県別の 3 種類の集計に対応すること。
- ・観光庁宿泊旅行統計調査・インバウンド消費動向調査・JNTO 訪日外客統計における速報値・確定値・国別割合推計等について、数値修正があった際には修正を反映するなど、整合的に管理すること。
- ・集計基準の変更が生じた際には、変更内容を反映すること。

(3) ダッシュボード設定

- ・公的統計、DMP データ（SNS 等）、AI レポート等を活用し、分析・統合ダッシュボードを設計すること。なお、設計するダッシュボードについては、下記の内容を網羅する設計としつつも、詳細については東観推との協議の上決定する。
- ・ダッシュボードには、宿泊旅行統計調査概要分析、宿泊施設タイプ別分析、インバウンドオーバートーリズム分析（全国、東北 7 県それぞれ）、地域ブロック別分析、季節性、月次トレンド分析、

外国人宿泊者数分析、外国人比率分析、外国人の施設タイプ選好、月次インバウンド動向、地域分散の余地（低外国人比率都道府県）、現状課題（構造的・表面的）、インバウンド旅行消費額、等について、全国、東北六県の合計、七県の合計、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、新潟県、各県それぞれの分析が見える設計とすること。また東観推が HP で公表している東北域内宿泊者数の推移のデータ公表が可能となる設計として、その基礎となるブロック別外国人延べ宿泊者数内訳（各県単月と累計内訳）、市場別外国人延べ宿泊者数内訳、国内延べ宿泊者数推移（外国人除く東北 7 県）が可視化された設計とすること。

- ・東北 6 県合計/ 7 県合計/各県別の切替、速報値・確定値比較、月次・年次・国別等の切り口に対応すること。
- ・Excel 及び PDF 形式でのダウンロードに対応すること。
- ・ダッシュボードを東観推へ提供し、東観推の担当者が自ら編集・追加できる体制を整備すること。

(4) データ分析支援

- ・東観推の担当者が主体となるデータ分析・観光施策の検討に対し、サポートとして関与すること。
- ・データ取得・整形・可視化の仕組みに関する助言を提供すること。
- ・AI ツールを活用した分析・レポート作成支援を行うこと。
- ・AI の最新動向・活用事例に関する情報共有を定例会等の場で実施すること。
- ・月次打合せは、原則として月 1 回行うこと。オンラインを基本とし、東観推の求めに応じて対面実施も可とする。
- ・月ごとのデータ更新状況、ダッシュボード利用状況、業務目標の達成進捗について、データに基づく定性的・定量的な分析を行ったうえで月次報告書を作成し、月次打合せの際に提出すること。

(5) 月次 PDF の提供

- ・公的統計の可視化結果を、東観推のホームページ掲載用の月次 PDF・Excel 等として定期的に作成・提供すること。

なお、対外発信に必要なフォーマットは、東観推との協議のうえで決定すること。

(7) ドキュメント・知見の共有

- ・業務に関するドキュメント・知見は、東観推と共有すること。
- ・東観推の担当者が容易に参照・更新できるよう整理した上で提供すること。

(8) 保守・運用管理

- ・万が一提供するシステムの停止や不具合が生じた場合には、状況を東観推に報告すると同時に、24 時間以内に復旧を行うことを目標とする（平均復旧時間 30 分以下）。またバックアップデータについては、利用するクラウドサービス事業者の提供条件および運用仕様の範囲内で、可能な限り直近のデータを復元できる体制を整備するものとする。なお、上記要件に加え、受託者においてバックアップに関する改善提案または代替案がある場合は、その内容を提案書に明記すること。

6 成果物

受託事業者は、業務終了時に以下の成果物を東観推へ引き渡すこと。

分類	概要
データ基盤	提供するシステムに格納するデータセット・スキーマ一式
可視化ツール	東北6県/7県/各県別の切替、速報値・確定値比較等に対応したダッシュボード構成一式
ドキュメント	データ更新手順、ツール操作手順、トラブル対応手順を記載したマニュアル一式 その他事業を推進する中で必要と認めた資料

なお、月次PDF及AI定期レポートは、上記のデータ基盤・ダッシュボードを活用した継続的な支援業務の中で提供するものとし、ここでは業務終了時に形として残る成果物に限って示す。

7 事業報告書の作成及び提出

業務完了時にデータ取り込み状況、ダッシュボード構築内容、運用実績、課題及び次年度への申し送り事項等について記載及び分析を行った報告書を作成し、提出すること。提出期限は2027年3月31日（水）とする。

8 その他留意事項

- ・受託者は、東観推と締結した「業務委託契約書」の各条項を遵守し業務を遂行すること。
- ・受託者は、業務に要する機材及びソフトウェアについて自ら準備すること。
- ・受託者は、業務の各段階において業務の遂行について随時報告を行い東観推の了解を得ること。
- ・受託者が業務を遂行する上で必要な資料等は、受託者において入手すること。ただし、東観推が提供可能な素材・データについては適宜提供する。
- ・セキュリティおよび個人情報（以下「PII」という。）の取り扱いについては、個人情報の保護に関する法律その他関係法令を遵守するとともに、東観推の定める規定に従い、適切な運用設計を行うこと。
- ・受託者は、関係法令を遵守するとともに、個人情報の取扱いを適正に行い、危機管理意識に基づき健全かつ安全に業務執行を図ること。
- ・受託者は、この委託契約に係る業務を遂行する上で知り得た情報又は秘密は、承諾を得ることなく第三者に漏らし、又は委託業務以外の目的に使用してはならない。委託期間が終了又は委託契約が解除された後においても同様とする。